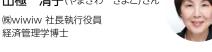
## パネルディスカッション。

## 「男女がともに仕事と生活を 両立していくために」

・コーディネーター

山極 清子(やまぎわ きよこ)さん

㈱wiwiw 社長執行役員







奥瀬 円(おくせ まどか)さん 社会保険労務士法人 HRM総合事務所 代表計員

中小企業診断士。特定社会保険労務 士。中小企業診断士受験勉強は一人 息子が1歳のときにスタート。「地域が 育てた子どもたちが地元に貢献できる 起業家となる」ための起業家育成を目 指す。



前田 眞二(まえだ しんじ)さん アルパイン株式会社 管理副担当理事

1982年アルプス電気㈱入社。1991年 アルパイン(株)人事部へ異動。2003年よ り5年間、ドイツの現地法人へ出向し、帰 任後は、アルパイン㈱人事総務部長を 務め、現在は管理副担当理事として女 性の活躍推進・雇用拡大に努めている。



千葉 悦子(ちば えつこ)さん 福島県男女共生センター 館長

平成22年3月、(財)福島県青少年育 成・男女共生推進機構副理事長に就任 し、同年4月から福島県男女共生セン ター「女と男の未来館」館長。福島大学 副学長。専門分野は、ジェンダー学習論、 地域づくり教育論、農民家族論、生活構 造論など。



清水 敏男(しみず としお) いわき市長

男女がともに仕事と生活を両立していくために

いわき市議会議員2期 福島県議会議員4期 平成25年9月28日から現職

※役職名等は開催当時のものです

## 【自己紹介とこれまでの取組み】



私は震災後、企業に復旧補助金や従業員の賃金保障の助成金を案内し、申請手続を行ってきました。 また、お客様はもちろんのこと、自事務所の従業員に対しても心理面でのフォローをしてきました。関 わっている企業が震災後も事業を続けていること、自事務所の従業員が退職せずに働き続けているこ とが取り組みの成果です。



現状、当社社員の男女比率は8:2ですが、女性の採用比率50%を目標に様々な対策を進めており、 男性の育児休暇も徐々に増えてきました。 昨年からは、社内の女性を集め 「女子会」 という組織を作り、 現行制度の見直しをしています。今後は女性がもっと活躍できるよう、業務にかけた時間よりも成果で 評価を行えるような人事制度の見直しも進めます。



私は、2010年に福島県男女共生センターの館長に就任しまして、これから地域に男女共同参画を根 付かせようという時に東日本大震災がおこりました。震災時は県内の各男女共同参画センターとの連 携・協働により、女性視点での被災者支援活動が出来ました。



私は子育て支援や男女共同参画に力を入れてきました。市長に就任して初年度に女性課長を5人登用 し、次の人事で3人登用して8人に増やしました。また、支所長にも初めて女性を登用しました。市役所 の女性管理職登用率は、平成22年度は2.9%でしたが、平成27年度は7.8%に上昇しました。

また、毎週水曜日に定時退庁日の実施や、職員が子育てに積極的に関われるように、子の看護休暇を 学校行事に参加できる子育て休暇に制度を改正するなど、働きやすい職場づくりに努めています。

## 【今後の取り組み】



市内の現状を把握するために、平成26年度には「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施し、今 年度は「ワークライフバランスに関する企業の意識・実態調査 | を実施しました。 市として、女性活躍推 進法に規定されている 「特定事業主行動計画」 を策定します。 まず市役所が実践し、市内の大手企業さ んへ普及啓発をしていきたいです。任期中に女性部長を誕生させたいと思います。